

将来を考えるきっかけに 中学生が職業体験

7月2日から4日までの3日間、町内の企業や事業所で、中山中学校の2年生が職業体験学習を行いました。

「なかやま職業体験学校」と題したこの体験学習は、生徒たちがこれから進路を選択するために必要な「職業観」や「勤労観」を養うための教育の一環として、町内の企業・事業所の協力を得て毎年行われているものです（受入れ事業所については7ページをご覧ください）。

3日間という短い期間ですが、生徒たちは実際に「仕事」を体験。学校生活では味わうことのできない貴重な体験をし、働くことの大変さを実感しながらも、それぞれやりがいを見出していたようです。また、社会人の先輩方からは、仕事だけでなく、挨拶や社会人としてのマナーの大切さも指導していただきました。

話を聞いてみると、「将来就きたい職業が具体的に決まっていない」という生徒がほとんどでしたが、職業体験を通して、「働く」ということについて多くのことを感じ取り、将来を考えるきっかけにすることができたようです。そんな生徒たちの奮闘ぶりを、写真とともにご紹介します。

このページは私たちが作りました！

役場には高橋愛未さん、高橋優希さん、庄司園佳さんの3名が訪れ、不法投棄パトロールや選挙で使用する道具の確認など、役場の様々な業務を体験しました。

最終日は、広報紙作りの仕事を体験。一眼レフカメラを首から下げ、インタビュー用のメモを片手に、町内の事業所を訪問して同級生の働く姿を取材しました。

慣れない一眼レフカメラでの写真撮影や文章作成、記事のレイアウトに苦戦しながらも、3人で協力し、本紙5～7ページを完成させました。



▲取材の様子



▲取材のあとは、インタビューを基に編集作業を行いました。



高橋優希さん



高橋愛未さん



庄司園佳さん

なかやま保育園

■どんな事を体験しましたか？

子どもたちと一緒に絵かきや七夕飾り作りをしたり、自由に遊んだりしました。

■仕事の感想を教えてください。

子どもたちはとっても元気で、想像していたより体力のいる仕事でした。保育園の先生方は、子どもたちを自由に遊ばせながらも、危ないことや喧嘩をしているとすぐに駆けつけ、怪我をしないように気をつけていました。先生方が一人一人に目を配ってくれるから、子どもたちのお母さんは安心して預けることができるのだと思いました。



▲左から佐竹風香さん、西堀美空さん、内藤瑞帆さん



長崎小学校

■どんな事を体験しましたか？

1・2年生各クラスに一人ずつ配置され、授業の補助や掃除の手伝いをしました。

■仕事をして分かったことは？

先生方は、授業だけでなく授業の準備にも力を入れていて、計画的に教えてくれているのだということが分かりました。また、子どもたち一人一人の得意なこと、苦手なことなどを把握してすごいのと思いました。

子育て支援センター

■どんな事を体験しましたか？

子どもたちと遊んだり、おもちゃの準備やお片付けなど、先生方の補助を行いました。七夕が近かったので、子どもたちと「きらきら星」の歌に合わせて踊りました。

■仕事の感想を教えてください。

きらきら星の踊りはちょっと照れくさかったけど、子どもたちが喜んでくれてよかったです。普段小さい子どもと接する機会がないので貴重な体験をさせていただきました。



左から佐藤海さん、大津真央さん、西澤永愛さん、佐藤愛花さん



後列左から堀冬萌美さん、鈴木悠保さん、伊藤雅春さん、清野大地さん。前列左から小野寺琴弓さん、渡邊日向さん